

政治社会学会 (ASPOS) 会報

ASPOS Newsletter

No.5. (Dec.2015)

- 大会報告
- 各支部報告
- 会員便り

政治社会学会 (ASPOS) 第 6 回研究大会報告

2015 年 11 月 14 日、15 日に広島大学東千田キャンパスにて政治社会学会 (ASPOS) 第 6 回研究大会が開催された。

大会 1 日目

午前 10 時から若手セッションが開催された。発表は公募により募集した「戦後日本の医療保健外交」(友次晋介・広島大学平和科学研究センター准教授) および「プロジェクト志向型市民会議の運営の仕組みと人材育成効果に関する研究- 京都市未来まちづくり 100 人委員会を事例として -」(田口美紀・同志社大学大学院) の 2 題で、座長は荒木義修・武蔵野大学教授であった。どちらもユニークな視点から選定された研究テーマで、専門外の研究者との質疑を交えた実りある議論が展開された。午後は 1 時から、川野徳幸・広島大学平和科学研究センター教授の司会で、西田恒夫・同センター長による基調講演がおこなわれた。演題は、国連大使などを歴任されるなど豊富な外交経験を元にした「混沌とする国際社会と国連、そして日本の役割」と題するもので、西田氏は討論者の杉田米行・大阪大学教授、大賀哲・九州大准教授はじめフロアからの質問にも丁寧に答えられた。午後の 2 番目のセッションは「食の未来を考える」と題するもので、「A 級(永久) = 100 年先の子供たちに伝える食文化」(寺元英仁・島根県邑南町観光協会理事) および「広島

のソウルフード『お好み焼』を世界へ」(松本重訓・オタフクソース株式会社 お好み焼き館館長) の 2 題の発表を頂いた。ともに研究者コミュニティには属さないステークホルダーで、それぞれの立場からの刺激的な話題提供であった。話題提供後は三つのグループに分かれてグループディスカッション (GD) をおこなって議論を深めた。ファシリテータは、荒木義修、田口美紀および村上紗央里氏 (同志社大学大学院)、司会は佐藤洋一郎・人間文化研究機構理事がつとめた。その後、第 6 回総会が開催され、執行部提出の議案等を承認した。

政治社会学会 2015 年度企画委員長 佐藤洋一郎
(人間文化研究機構・理事)



基調講演の様子

大会 2 日目

午前 10 時からセッション 3『東アジアにおけるエネルギー転換と社会変革－「ソフト・エネルギー・パス」の可能性－』が開催された。発表は、「環境社会の文明論的視点と歴史的にみた中国・アジアの価値意識」(中村則弘・愛媛大学)、「内モンゴルの環境をめぐる問題と現状打開に向けた試み」(首藤明和・長崎大学)、「地域産業の発展と環境問題－潮州市を事例として－」(呉雲影・韓山師範学院、林少敏・韓山師範学院、松木孝文・大同大学)、「日本の Prosumer 運動としての再生可能エネルギー生産運動の形成とその課題－PV-Net の事例から－」(三石博行・NPO 太陽光発電所ネットワーク)、「東アジアの「ソフト・エネルギー・パス」とエネルギー転換」(尾形清一・京都大学) の 5 題であった。それぞれの事例は、エネルギー転換がもたらす社会政治的な課題を考えるうえで、重要な示唆を与えてくれた。

13 時からのセッション 4 は、『「文理融合」と『リベラルアーツ教育』は、「学士能力」と「社会人基礎力」に如何に対峙すべきか』と題して開催された。発表は、「リベラルアーツ型教育における学際性と専門性」(吉田光演・広島大学大学院総合科学研究科長)、「ICU のリベラルアーツ教育：メジャー制とサービス・ラーニング」(石生義人・国際基督教大学教養学部教授)、「大学教育における PBL の果たすべき役割とは何か？ー同志社大学プロジェクト科目(公募制・教養教育)の取組からー」(山田和人・同志社大学 PBL 推進支援センター長) の 3 題であった。それぞれの大学における独自の取り組みが発表され、刺激のかつ有意義な話題提供であった。報告後には、三山秀昭広島テレビ放送代表取締役社長から企業が期待する人材という視点から有意義なコメントをいただいた。また、三石博行 NPO 太陽光発電所ネットワーク副代表からは、本テーマはこの学会にとって重要なテーマであり、今後も積極的に議論すべきとの意見を頂戴

した。司会は、佐藤洋一郎(人間文化機構理事)が務めた。

2015 年度大会開催校担当 川野徳幸
(広島大学)



大会の様子



懇親会にて

第4回 ASPOS/KAPS 日韓ジョイント・カンファレンス報告

日韓両国の市民社会形成の歴史と現状に関する活発な研究報告がなされる

—第4回日韓ジョイントカンファレンス 韓国、釜山—

2015年11月5日から7日の三日間かけて、KAPS and ASOPS Joint Annual Conference (第4回日韓ジョイントカンファレンス)を韓国、釜山の Pusan National University と Seacloud Hotel で行った。この研究会では共通の課題として日韓双方の「市民社会」に関する研究報告を中心として行われた。研究会の司会を「HongIk Chung ソウル国立大学名誉教授が行なった。

韓国側からは、Suk-Man Hwang 昌原大学校教授 (Changwon National University)が「The Resilience of Korean

Developmental State」、Suk-Ki Kong ソウル国立大学教授 (Seoul National University)が「Mapping Out the Dynamics of Korean Civil Society」と in-Ho Jang(光州科学技術院准教授(Gwangju Institute of Science and Technology)が「Two Recent Debates on Korean Capitalism since the 1980s 」の三人の報告があった。

日本側からは、大賀哲九州大学准教授が「Political discourses of Abe Politics and the Post-war Statement: between historical revisionism and international relations」、松久寛京都大学名誉教授が「Road of the Shrinking Society」、三石博行 PV-Net 副理事長(PhD)が「The formation of the Natural Energy Citizens' Movement and their

proposals.(1)」と森壮一東北大学前特任教授の

「Future Earth Center for Education and Capacity Building in Asia」の四人の報告があった。

その後に行われた研究会では、Hyun-Chin Lim ソウル国立大学名誉教授、Seung Kuk Kim 釜山国立大学名誉教授や Ahn Kyung Ryul 前国会議員(元ソウル国立大学教授)も参加し、日韓関係の将来市民社会や東アジアの平和的共存に関する相互の意見交流がなされた。

2010年以来、今回の日韓相互の政治社会学会の研究会はこの第4回ジョイントカンファレンスを含めて6回目であり、これからも引き続き、研究者間の研究交流を続ける必要があることが相互に確認できた。



ジョイントカンファレンス発表者の写真撮影

関西政治社会学会会長・広報委員長

三石 博行

政治社会学会支部報告

関東政治社会学会

関東政治社会学会では9月に第16回研究会を開催しました。

関東政治社会学会 第16回研究会

日時: 2015年9月5日(土) 14:30~17:15

場所: 専修大学(神田キャンパス)7号館(大学院棟)8階783教室

内容: 「文理融合・リベラルアーツで読み解く」

14:30~15:45 佐藤洋一郎(人間文化研究機構)

「戦略的教養のススメ~食を題材に~」

16:00~17:15 武中千里(NHK編成局)

「コンステレーションデザインによる価値創造~歴史資産の物語化~」

また、関東政治社会学会では、2016年3月19日(土)午後、専修大学神田キャンパスにて、「われわれが学んだこと、伝えるべきこと—東日本大震災から5年が経過して—(仮)」をテーマに、第17回研究会を開催することを予定しています。2011年3月の東日本大震災の発生からすでに4年9か月が経過しましたが、この体験を総合的に再検討する機会にしたいと考えています。奮ってご参加いただければ幸いです。

関東政治社会学会会長 原田博夫
(専修大学)

関西政治社会学会

2015年後半期の関西政治社会学会研究会研究会の活動報告

2015年8月1日、同志社大学今出川キャンパス志高館で、関西政治社会学会の第3回研究会が「食と農」第3回研究会と共催で開催された。第1部では「食と農」研究会が主催し、長澤源一氏(京都太秦 長澤農園、同志社大学嘱託講師)が「京野菜づくりから食と農を考える」を報告、グループディスカッションが行われた。第2部では、七條ありさ氏(学生団体ivote 関西 京都エリア代表、京都大学法学部2年)が同団体の活動事例報告「若年層の投票率向上にむけて」を発表し、その後グループディスカッションが行われた。更に、第3部 円卓会議「総合政策学にとって文理融合・リベラルアートとは何か」が行われ、三石博行氏(千里金蘭大学元教授)が「吉田民人の安全学が提起した21世紀の科学の課題-開発学から安全学へ-」の報告を行い、その後、グループディスカッションが行われた。研究会の後の懇親会でも、それぞれの課題に関して熱心な議論が続いた。

2016 年度関西政治社会学会の研究会予定

2016 年の関西政治社会学会の定例研究会の企画をお知らせします。1 月 30 日の第 1 回関西政治社会学会研究会のプログラムと、確定しています第 2 回から第 5 回の研究会の開催日と開催場所、企画プログラムは以下の通りです。

◎ 2016 年第 1 回関西政治社会学会研究会

日時 2016 年 1 月 30 日(土)15 時 00 分-18 時 15 分

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館 2 階 SK288

1 部 「参画型市民社会を担う政策主体形成とは 1」

時間 15 時 00 分-16 時 30 分

報告 1 荒木義修 武蔵野大学教授「積極的人格尺度と企業研修プログラム『心のアドベンチャー』」

報告 2 田口美紀 まちしごと総合研究所研究員「参画型社会の形成に向けたこれまでの活動と課題」

グループディスカッション

2 部 テーマ「EU 問題とは何か」

時間 16 時 45 分-18 時 15 分

報告者 1、Alain Marc Rieu (国立リヨン第三大学教授、現在大阪大学客員教授)

グループディスカッション

※報告、ディスカッションは英語です。

懇親会 18 時 20 分-20 時 00 分

場所 同志社大学 寒梅館喫茶店

参加費 2000 円、学生 1000 円、招待者 0 円

◎ 2016 年第 2 回関西政治社会学会研究会

日時 2016 年 3 月 26 日(土)13 時 00 分-18 時 00 分

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館 2 階 SK288

1 部 テーマ 「エネルギーシフトの可能性」(予定)

2 部 テーマ「日本の安全保障問題としてエネルギー・農業政策」(予定)

◎2016 年第 3 回関西政治社会学会研究会(予定)

日時 2016 年 5 月 21 日(土)13 時 00 分-18 時 00 分

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館 2 階共同研究室 SK288

1 部 テーマ「少子化問題への対策」(予定)

2 部 テーマ「食とエネルギーの地産地消の可能性」(予定)

◎2016 年第 4 回関西政治社会学会研究会(予定)

日時 2016 年 7 月 16 日(土)15 時 00 分-18 時 15 分

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館 2 階 SK288

1 部 テーマ「安保法制と国際平和」(提案)

2 部 テーマ「参画型社会形成のための政策課題」

◎2016 年第 5 回関西政治社会学会研究会(予定)

日時 2016 年 9 月 24 日(土)15 時 00 分-18 時 15 分

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館 2 階 SK288

1 部 テーマ「POP21 と日本の地球温暖化対策」(提案)

2 部 テーマ「日韓・日中関係の改善対策」(提案)

関西政治社会学会会長 三石博行

◎ 学生団体 ivote 関西研修会 関西政治社会学会後援

2016 年 3 月 25 日(金) 9 時 00 分-17 時 00 分

場所 京都大学を予定

集中講義 講師 荒木義修 (武蔵野大学教授)

懇親会 近くの喫茶店 17 時 10 分-19 時 00 分

九州政治社会学会

報告事項はありません。

会員便り

平田恵子会員より、会議開催のお知らせです。

ASPAC 2016 会議開催のお知らせ (Asian Studies on the Pacific Coast 2016 Conference)

日時：2016年6月10日-12日

会場：カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 (California State University, Northridge)

申込期限：2016年2月29日 (一般)、2015年12月31日 (米国ビザ申請が必要な場合)

申込方法：<http://www.csun.edu/asian-studies-pacific-coast-2016/call-proposals>

アジア学会 (AAS)：<https://www.asian-studies.org/About/Regionals>

問い合わせ：平田恵子 <aspac@csun.edu>

Asian Studies on the Pacific Coast 2016 Conference

Imagining Asia: Urbanization, Migration, Exchange, Sustainability

ASPAC 2016 at CSUN, June 10-12, 2016

California State University, Northridge (CSUN) will host the Asian Studies on the Pacific Coast 2016 Conference on the CSUN campus in Northridge, California from Friday, June 10-Sunday, June 12.

College and university faculty, K-12 schoolteachers, independent scholars and graduate and undergraduate students with an interest in Asian or Asian diaspora studies are invited to join.

The general application deadline is Monday, February 29, 2016. For international or other applicants who need a letter of invitation, the early application deadline is Thursday, December 31, 2015.

Call for proposals: <http://www.csun.edu/asian-studies-pacific-coast-2016/call-proposals>

Association for Asian Studies (AAS): <https://www.asian-studies.org/About/Regionals>

Contact: Keiko Hirata aspac@csun.edu

会員の著作情報

中尾正義会員

- 『地球環境学と歴史学—シルクロード、カラ=ホト遺跡
共同調査プロジェクト体験記』山川出版社、2015年6
月。



吉田龍太郎会員

- 「労働市場の多様化と、新しい性別役割の登場」『労働の
科学』70巻11号、2015年11月。
- 「保守合同後の政党政治と外交政策論争」『法政論叢』
51巻1号、2014年12月。
- 「保守合同後の芦田均」『法学政治学論究』101号、
2014年6月。

会費納入のお願い

日頃より、当学会の運営に対しまして、ご支援・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。当学会の活動は会員の皆様方の会費と寄付に支えられております。当会の活動も漸く軌道に乗って参りましたものの、今後、活動をさらに強化していくために、会費の納入をお願い申し上げます。既に納入済みの際にはご容赦ください。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

原則として、入会申込書記載の所属機関宛とさせていただきますが、他住所への郵送を御希望の際は、その旨お知らせ下さい。また、納入の際にはお名前のみのお入力にてお願い申し上げます。なお、会費納入状況につき不

明の方は、imamura@waseda.jp までお問い合わせ下さい。

【振込み先】 三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店
普通 0126184

政治社会学会事務局長 今村浩

(セイジシャカイガツカイジムキョクチョウ イマムラ
ヒロシ)

政治社会学会事務局

編集後記

今年からニュースレターを年に2回、6月と12月の末日に発行することになりました。今回のニュースレター-2015No2は、2015年6月から12月までの、政治社会学会の活動に関する情報と、2016年の行事や企画の情報です。今後、広報委員会では、ニュースレターの編集作業を通じ、政治社会学会ホームページへの充実や改良等に努める予定です。これまでのように、今回のニュースレターの発行に際し、全ての実務的作業を担われました中村知子先生(事務局長)に深謝いたします。

広報委員会委員長 三石博行

広報委員会委員長 三石博行
ASPOS Newsletter [政治社会学会 (ASPOS) 会報]
No. 5 (2015年12月26日発行)
発行人：新川達郎 (理事長)
編集人：三石博行 (広報委員長)
E-mail: hiro.mitsuishi@gmail.com